

事務事業名		森林づくり交付金		所属部	産業振興部	所属課	農林振興課			
総合計画体系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	森林バイオマスグループ	課長名	熱田 勇二			
	施策名	(34)林業の振興		担当者名	山本章平	電話番号	0854-40-1051 (内線) 3705			
	目的	対 A)市内の森林所有者 B)市内の森林	意図	A-1)木材生産量を拡大する。A-2)森林資源を活用する。B)適正に保全する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	林業振興総務管理事業
	基本事業名	(102)適切な保育管理		中事業	中事業名	森林づくり交付金				
目的	対 市内の森林	意図	森林を適正に保全する。	項目	013001 101576	中事業	中事業名	森林づくり交付金		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
林業事業者等による高性能林業機械等の整備に対する支援事業 (補助率:1/2以内)
【事業内容】
■ 補助事業者: 大原森林組合
■ 導入林業機械
・グラップル付トラック1台 事業費:14,437,500円 補助額: 6,187,000円
・グラップル1台 事業費:10,447,500円 補助額: 4,477,000円

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		交付金の申請、完了検査及び交付金の支払い	平成24年度で終了			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	森林組合数	件	-	-	2	-
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	森林組合、森林組合連合会及び林業者等の組織する団体等	ア	森林組合員数	人	-	-	8,078	-
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
・低コスト木材生産体制の整備 ・木材の積極的な利用促進	ア	木材生産量	m ³	-	-	18,614	-	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
【事業費の内訳】 ■ 導入林業機械 ・グラップル付トラック1台 事業費:14,437,500円 補助額: 6,187,000円 ・グラップル1台 事業費:10,447,500円 補助額: 4,477,000円 補助額計:10,664千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			10,664
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円			10,664	
	人件費	正規職員従事人数	人			3
	延べ業務時間	時間			50	
	人件費計 (B)	千円			196	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			10,860	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
木材生産コストの削減や事業効率化の為、高性能林業機械の導入・整備が必要となっている。	特になし	特になし

事務事業名	森林づくり交付金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 国の事業要綱に基づき実施しており、向上余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 高性能林業機械等の導入では投資額が大きくなるため、このような補助制度が重要となっている。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 類似事業はない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 国の補助事業であるため、削減余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 定められた業務を適切に実施しており、これ以上の削減余地はない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 国の事業であり、受益機会、費用負担とも公平・公正である。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 近年、木材は用材利用に限らず、バイオマスエネルギーとしての活用など多様なニーズに対応することが求められており、高性能林業機械等の導入が必要不可欠であることから、このような補助制度の継続が望まれる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
事業体等の要望に応じ事業実施するとともに、補助制度の継続に向け国及び県への要望に引き続き取り組んでいく必要がある。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			